

題材名「アニメーションを作ろう」

目 標

- ・望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
(学習指導要領：特別活動 - クラブ活動についての目標より)

コンピュータを活用する利点

テレビのアニメ番組が嫌いという児童は、あまりいないだろう。しかし、好きと答えた児童の中でも、どのような仕組みでアニメーションができているかを知っている児童はあまりいない。学習指導要領によると、クラブ活動については、「学校や地域の実態等を考慮しつつ、児童の興味・関心を踏まえて計画し実施できるようにすること。」とある。そこで、クラブ活動の一環で児童達と話し合っ活動計画を作る中で、簡単なアニメーション制作(GIFアニメ)に取り組んでみることにした。

また、作成にあたっては有償のソフトウェアを利用せずに、静止画の作成には windows に付属するペイント、GIF アニメの作成にはフリーウェアの Giam を利用することにした。インターネット上を調べると、他にも様々な便利なソフトウェアを見つけ出すことができる。これらも利点の一つと言って良いと考える。

授業の流れ(2時間)

計画を立てる。

事例を見て、自分の作品について構想を練る。

下絵を紙に描き、それを元にしてコンピュータで絵を描いていく。

お互いの作品を鑑賞する。

お互いの作品を鑑賞する。

ICT 活用場面

最初に、事前に作っておいた GIF アニメとその元になっている画像を見せた。動きのない静止画が画像を切り替えることにより動いて見えた児童はそれだけでも驚きの声を挙げるなど、絵が動いて見える不思議さを体感することができた。



次に付属のペイントを利用して、あらかじめ準備しておいた 10 枚程度の下絵をコンピュータで描いて保存し、Giam でアニメーションに仕上げた。どちらのソフトも直感的に利用することができ、児童たちは説明後には簡単に使ったり、お互いに教えあったりすることができた。

成果と課題

描いた絵は 10 枚程度。出来上がったアニメーションはほんの数秒。それでも自分たちが熱心に作ったアニメを見ながら、歓声を上げていた。また自分の作品とテレビで流れるアニメを比べ、「いったい何枚の絵を描けばいいんだろう。」と、制作スタッフの苦労に思いを馳せる児童も出てきた。

このように、GIF アニメ作りを通して児童の表現力・思考力を少し伸ばすことができたが、内容はブラックジョーク的なものがあるなど、モラル的な問題点が残った。これらの点に関しては、今後の課題となってくると思われる。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	児童用パソコン 13 台
使用ソフト名	Giam、ペイント、Internet Explorer
使用教室	コンピュータ教室